

特集 学校ではESDの取組が進められています
食を通して地域を学ぶ子ども達
県教育委員会からのお知らせ
クイズに答えて図書カードをもらっちゃおう

平成26年6月発行 発行/愛知県教育委員会

『パレット』には、本広報紙を絵の具をのせるパレットにみたてて、教育情報を発信し、家庭・地域・学校が一体となって、大きなキャンパスに子どもの未来を描きたいという願いが込められています。

言葉の壁を越えよう!

世界にはばたけ!あいちの子どもたち

～グローバル人材の育成を目指して～

本県では、世界を舞台に活躍できる人材の育成を目指し、平成25年度から5か年計画で「あいちグローバル人材育成事業」を実施しています。

あいちスーパーイングリッシュ ハブスクール事業

英語教育の拠点となるハブスクール12校(千種高校・中村高校・瀬戸西高校・尾北高校・一宮西高校・津島高校・常滑高校・豊田北高校・西尾高校・刈谷北高校・豊橋東高校・御津高校)において、英語を高いレベルで使いこなす人材の育成を進めています。

常滑高校では、小・中・高連携の一環として、小学校で「出前授業」を実施しました。高校生が講師となって、英語を使って説明し、小学生は英語の歌や劇などの活動をしました。



小学校での出前授業

イングリッシュキャンプ in あいち

英語によるコミュニケーション能力を身に付け、異文化を肌で体験するために、4泊5日のイングリッシュキャンプを、夏季と冬季に1回ずつ実施しました。

小学校6年生から高校3年生までの児童・生徒が、ALT(外国語指導助手)と英語でゲームやスポーツを楽しんだり、英語でプレゼンテーションを行ったりして、英語に対する自信と興味・関心を高めることができました。



英語でゲーム

高校生海外チャレンジ 促進事業

異文化理解を深め、チャレンジ精神を育むことを目指して、生徒が主体的に取り組む海外の短期留学の費用を助成しています。今年度は、アメリカや韓国への語学留学をはじめ、ベトナムでの植樹ボランティアやアメリカでのダンス留学など、さまざまな企画に取り組みしました。

1月11日に開催したイングリッシュフォーラムでは、阿久比高校の生徒3人が、海外での体験について英語で発表しました。



イングリッシュフォーラムにおける体験発表